

令和4年8月30日
健康推進課長 木村慎吾
内線 4130
外線 076-225-1435

石川県腎友会「命のキャラバン」運動について

1 概要

石川県腎友会が、平成11年度から、臓器提供について最も重要な立場にある救急医療や脳神経外科領域に携わる医療従事者に対して、移植者と移植を希望する患者の状況を説明し、臓器移植についての理解を深め、移植医療の普及推進を図るため、毎年、「命のキャラバン」と銘打ち、9月以降の期間に県内の臓器提供協力病院等を訪問しているもの。

今年度は病院等の訪問はせず、石川県庁（健康福祉部長室）で「各病院長宛の知事メッセージ」を健康福祉部長から受け取り、各病院へ当メッセージを送付する。

2 実施主体

団体名称 NPO法人 石川県腎友会

代表者 理事長 山本 富士夫

所在地 金沢市長土堀1丁目16-15 丸昌ビル2F

発 足 昭和47年2月

(県下の透析患者40数名で石川県人工腎臓友の会として発足)

会 員 402名(令和4年4月1日現在)

慢性腎不全患者で構成されており、ほとんどの会員が人工透析療法を受けている。

※ 特別会員として腎移植者も含む。

活動内容 ① 臓器移植普及推進月間(毎年10月)への協力(募金活動等)

② 腎不全患者の集い(レクリエーションなど)

③ 日常活動(会報発行、会員生活指導など)

3 令和4年度「命のキャラバン」の概要

9月1日(木)13:30~13:40に健康福祉部長室にて知事メッセージの受渡式のみを実施。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、病院等への訪問はせず、県内30か所の臓器提供協力病院(別紙のとおり)を含む48病院に対し、郵送にて知事メッセージを送付する予定。

【参考】近年の運動実績

令和元年度 9月~10月に県内24か所の臓器提供協力病院を訪問

令和2年度 県内30か所の臓器提供協力病院を含む46病院に、
知事メッセージを送付

令和3年度 県内30か所の臓器提供協力病院を含む48病院に、
知事メッセージを送付

令和4年度「命のキャラバン」運動に係る知事メッセージ送付先

知事メッセージを送付する臓器提供協力病院	
加賀市医療センター	浅ノ川総合病院
小松市民病院	金沢有松病院
やわたメディカルセンター	城北病院
能美市立病院	金沢西病院
芳珠記念病院	金沢医科大学病院
公立松任石川中央病院	河北中央病院
公立つるぎ病院	公立羽咋病院
金沢脳神経外科病院	町立宝達志水病院
金沢大学附属病院	町立富来病院
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	公立能登総合病院
石川県立中央病院	恵寿総合病院
金沢市立病院	市立輪島病院
金沢赤十字病院	公立穴水総合病院
石川県済生会金沢病院	公立宇出津総合病院
地域医療機能推進機構金沢病院	珠洲市総合病院